私は独学でアートや絵の描き方を学んだ、セルフトート・アーティストである。私の表現手段は主にアク リル抽象画であるが、絵画の他にも写真集や小説、エッセイなどを出版し、幅広いアート活動を続けている。

<mark>私は " アート=生きるとと" と定義しており、人間が生きるにあたって</mark>遭遇する、ありとあらゆる事項や 事象を取り扱う。作品を制作する際にベースになっているのは、中国の<mark>道教思想(</mark>タオイズム)である。

この世界一切は道(タオ)でり、大いなる存在(神・空・絶対無限の存在)の表れであり、人間もまた、 大いなる存在の創造物である。そして万物は、大いなる存在の可能性と創造性により、あるがままに移ろ

そういった意味で、絵画作品においては、画面をできる限り人為的、人<mark>工的に操作せず、</mark>高度な技術によっ て作品を支配しようとせず、あるがままに、自身の内から沸き起とる<mark>色彩や形態、エネルギー</mark>を、直接的 に表すことを試みている。言い換えれば、私が描く絵画作品は、内なる<mark>世界(内的字</mark>音)が表層の物質世 界に表れたものだといえる。

また、写真作品に至っては、 レート・フォトを専門としている スナップによるスト を選<mark>ぶか、いつ、どの場所で、何を撮るの</mark>か、すべては大いなる存在**に、自動的に**動 - (共時性) によって決定していく。写真作品におい あるがままの状態で、必然的、領動的にシャッターを切る。

また、窓が執筆する文芸作品においても、同じことが言える。大いなる存在を感じ、あるいは大いなる存 在と一体化し、作品は自動的、偶然的(必然的)に出来上がるのです。

総じて述べれば、私は宇宙のエネルギーを第大感によって掴み取り、五感を司る肉体で感じ、地球に未だ存在していない未知のエネルギーを下ろす。それらのエネルギーは愛であり、光と癒しである。目に見えない、不可視のエネルギーを色や形や言葉にして地上に表し、定着させ、地球の被動を上昇させ、人類に僅かなりとも希望や光を見出してもらうととを、私のアート活動の目的としている。

対人為

【眞野丘秋 略歴】

1976 年 滋賀県生まれ、在住 京都造形芸術大学通信部 デザイン科情報デザイシコース 京都芸術デザイン専門学校 デザイン総合コース(併修制) ス(併修制)中很

アーティストとして、微質を拠点に国際飲 漫動している。

fildevev, ku, kuuv, e ヨーク、ローマ、東京などの世界主要部市に て国際支流展、アートフェア、グループ展に

多数出展。 切ではより東京、ペルリン、上海、ニューヨ・ ウなどで多数の個展を開催。 アクリル何をメインに制作し、絵画の他にも 写真集、小説、エッセイなどを出版し、多味 に彼る海頂を続けている。著個多様。

2017年 「楽園の創造」と海風月舎画旅

(上海・中国) 2016年 「銀河の夢」 OUCHI GALLERY

(ニューヨーケ) 2015年 「私の芋歯」上海風月舎画廊

2015年 「私の学術」上海風月舎画廊 (上海・中国) 「インディ・領本) 2014年 「内学部への旅」上海風月舎画廊 (上海・中国) 「銀河の河を」Salon de La'(東京・銀盤) 「あるがまま」 TERADA ANUSEMENT SPACE (ベルリン・ドイツ) 2013年 「河東元秋の世界」Salon de La' (東京・銀盤) 「第「しい世界」ギャラリー論々 (後登) 2012年 「西達から天米人」 サンプリッジホテル(後登) 「変容するエネルギー」 ギャラリー論々 (後登)

「姿勢するエネルギー」 ギャラリー論々(然質) 2011 年 「宇宙の響き」 ギャラリーコジマ(微質) 「実験に属」ファブリカ材ギャラリー(微質) 2010 年 「強しと領験」 る一ぶる愛知川ギャラリー(微質) 2009 年 「宇宙から地上)」 ひとかけ女化プラザ(微質) 2008 年 「私という宇宙」 ギャラリーいとー(微質) 2007 年 「宇宙のカケラ」 ひこれ市女化プラザ(没質)

ひこね市文化プラザ(滋賀)

【主なグループ展、アートフェアなど】 エタフルーフ展、ノートノエアなど】 2017年『JCAT SHOW CASE Gallery Max

「ユーヨーケ) 「MOVE 展 in タスマニア」 Rosny School House (タスマニア・オーストラリア) 「MILAN BENNIAL OF ART 2017」 MAD GALLERY MILANO(ミラノ・ 「TRANSMATIONAL ART」

位江之子島文化芸術創造セン 大阪) Japan Restival Bedin J

URÂNIA Bedin e.V. (ベルリン)

Ukana Bana V. (ペンリン)
「Apanasa Pop Art Stow」 Collingwood Ca
(メルボルン・オーストラリア)
2016年「つつまれる展」
アートイマジンギャラリー(東京)
「創作表現智度」ドラードギャラリー(公古屋)
「同時代・アンデバンダン展」
同時代ギャラリー(京南)
MOME展加タスマニア・Rossy Parm (東京)

(タスマニア・オーストラリア) JAPAN NOW 2016」Espacto Gallery

「MOVE展fn ベルリン」 Kunst Gallery Prinz

(ベルリン) IJCAT SHOWCASE 16』JCAT ギャラリ

NY・USA) 芸術祭 建坡度 2016」 上野の森美術館(東京) TRANSNATIONAL ART」

阪府立江之子島文化芸術創造センタ

2015年「MOVE展in上海」 上海風月舎画廊(上海・中国) 「MOVE展in Istanbul」

Movinganisanudi ベシックタシュ・テャーダッシュ 芸術ギャラリー(トルコ) 「マルタ オークション 2015」 カバリエリホテル(マルタ共和国) [Japanesa Aristin ROME Bebitton]

カッペラ・オルスィーニギャラリ・ 「**沼待作家**展 2015 **~時~**」 アートイマジンギャラリー (東京) 「芸術祭 2015」 最初 0 美術館 (東京)

「MOVE展to NY] OUCH GALLERY (NY・USA) *二人展 Depan Restival Bedin] URANIA Bedin (それれ) シ ベルリン) 日本現代芸術品評会」

上海風月舎画廊(上海・中国) 2014年 「Spectrum Miami Art Show」

Midtown Mianti (USA)
「美術の存在意義 展 No.18」
アートイマジンギャラリー(共成)
「Salon Art Shopping」ルーヴル連領は(ペリ)
「2014 マルタ展」カバリエリ・アートホテル(マルタ共和国)
「Made in Japan」ART concept DEN(ペレリン)
「Paper Art Collection '14」ART concept DEN(ペレリン)
「ARTEXPONYIPIER 94(NY・USA)

ARTEXPONY | PIER 94 (NY • USA) 「ARTEX-NEW YORK」 Ward Nasse Gallery (NY • USA) 「MOVE 展 in Teltow」 テルトウ市市庁舎(ドイツ) 「TRANSNATIONAL ART」

大阪府江之子島文化芸術創造センター

(大阪)

2013年「SPECTRUM Miami」 Midtown Miami (USA)

「BOOM 出版記念イベント」 Wabi Sabi Garden Gallery (オーストラリア) 「ARTEX PARIS 2013」 Galerie 3F(パリ)

「Salon Art Shopping」ルーヴル美術館(パリ) 「ベルリナー・リステ 2013」 KRAFTWERK BERLIN(ベルリン)

「ARTEX TOKYO 2013」 Gallery K & ギャラリー檜 B(東京) 「MOVE 展 in ベルリン」

GALLERY DEN (ベルリン)

「独米6都市巡回展 in ブランデンブルク」

「独木 6 和中巡回展 m ノランデンノルク」 テルトウ市市庁舎 (ドイツ) シャルロッテンブルク宮殿・アートフェス」 シャルロッテンブルク宮殿 (ベルリン) 「ジャパンフェア・ラーテノウ展」 ラーテノウ文化センター (ドイツ) 「ケルン・ペーパーアート」

Vulkan-Halle (ドイツ) 「ART EXPO New York」 Pier 92, NYC (NY · USA)

Fountain Art Fair NY

69th Regiment Armory (NY • USA) 「Japan Festival Berlin」 URANIA Berlin e.V. (ドイツ)

【出版書籍】

2014年 写真集『癒しの風に誘われて』 (MANO Publishing) * 再出版 2013 年 写真集『四国巡礼 Ⅲ』 (MANO Publishing) 2013 年 写真集『四国巡礼Ⅱ』

(MANO Publishing) 2013年 写真集『四国巡礼』 (MANO Publishing)

2013年 写真集 [Healing Flowers]

(MANO Publishing) 2013 年 写真集『日常の詩』 (MANO Publishing)

2012年 エッセイ 「インディゴのつぶやきII」(日本文学館) 2011年 エッセイ 「インディゴのつぶやきI (日本文学館) 2010年 小説「アート・コンプレックス」

2009年 小説『シャンバラへ向かって』 (日本文学館)

2008年 電子写真集『癒しの風に誘われて』 (でじたる書房) 2007年 小説『インディゴの悲しみ』

(日本文学館) 電子写真集『結願』(でじたる書房)

2006 年 写真集『color fairies』

(日本文学館)

自伝『アウトレイジャス』(新風舎) 写真集『UTSU filter』(新風舎)

【受賞歴】

第 40 回「ARTEX NEW YORK 2014」 特別賞(Ward-Nasse Gallery、NY) 2012年 第62回「滋賀県文学祭」 2012年 文芸出版賞 『インディゴのつぶやき』 2009年 第7回「風展」画廊賞 (ギャラリー風の門、滋賀)

作家 HP http://www.manotakaaki.com

楽園の波動 Nature #21 波動 #15 無題 波動 #14



Tel 042-595-9612